

福祉サービス第三者評価結果報告書【令和2年度】

2021年 3月 5日

東京都福祉サービス評価推進機構
公益財団法人 東京都福祉保健財団理事長 殿

〒 330-0072

所在地 埼玉県さいたま市浦和区領家2-13-9-103

評価機関名 株式会社シーサポート

認証評価機関番号

機構 13 - 223

電話番号 048-711-1020

代表者氏名 代表取締役 白井豊



以下のとおり評価を行いましたので報告します。

評価者氏名・担当分野・評価者養成講習修了者番号	評価者氏名		担当分野	修了者番号
	①	白井豊	経営	H0405018
	②	田中江美子	福祉	H1901034
	③	工藤堯子	福祉	H1302018
	④			
	⑤			
	⑥			
福祉サービス種別	認可保育所			
評価対象事業所名称	アウル宮前保育園			
事業所連絡先	〒	168-0081		
	所在地	東京都杉並区宮前2丁目11番11号		
	TEL	03-5941-5112		
事業所代表者氏名	青木るみ子			
契約日	2020年 8月 21日			
利用者調査票配付日(実施日)	2020年 9月 29日			
利用者調査結果報告日	2021年 1月 31日			
自己評価の調査票配付日	2020年 9月 29日			
自己評価結果報告日	2021年 1月 31日			
訪問調査日	2021年 2月 22日			
評価合議日	2021年 2月 27日			
コメント (利用者調査・事業評価の工夫点、補助者・専門家等の活用、第三者性確保のための措置などを記入)	・専門性に配慮し保育士資格保持者を評価者として配置した。			

評価機関から上記及び別紙の評価結果を含む評価結果報告書を受け取りました。
本報告書の内容のうち、

- 機構が定める部分を公表することに同意します。
- 別添の理由書により、一部について、公表に同意しません。
- 別添の理由書により、公表には同意しません。

2021年 3月 5日

事業者代表者氏名

アウル宮前保育園
青木るみ子



No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	戸外活動・行事を含め活動継続に園全体で取り組んでいます
	内容	園庭は遊具等に工夫が凝らされており、夕方でも子どもたちが元気に遊ぶことができるスペースを有しています。今年度は新型コロナウイルスの影響もあり様々な活動に対して制限がある中、テラスの利用、敷地内の散策など様々な工夫を凝らしながら戸外活動がなされています。また夏季のプール活動も衛生環境への配慮と遊び方や着衣の工夫により実施したことは特筆に値し、行事開催も含め通常の活動や保育の継続に園全体で取り組んでいます。
2	タイトル	衛生管理の徹底により感染防止対策に最大限の尽力がなされています
	内容	複数名の看護師配置が実現しており、子どもたちの健康管理にあたっています。今期の新型コロナウイルスの対策として、マスク等備品の早めの確保、保護者の入室場所・通行方向の限定・入室制限、パーティションの使用、玩具等消毒管理、おしぼりの使用と衛生管理等々厳格な取り組みがなされています。また入園希望者のオンラインによる説明会実施、食事や午睡への配慮など子どもたちの健康を守りながら活動ができるよう最大限の尽力がなされています。
3	タイトル	計画と配慮によりあせることのないよう保育を進めています
	内容	今年度は緊急事態宣言により入園時期が移行していることから慣らし保育や在園児のリスタートについてもあらかじめ計画し、対応を図っています。また小学校への見学ができないことから小学校サイドで動画を作成し、小学校の雰囲気わかるよう協力もなされています。年長児をはじめ在園児にとってもはじめての生活の変化であり、保護者や職員があせることのないよう声をかけながら保育を進めています。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	写真や映像を使用した行事マニュアルの完成が期待されます
	内容	開園から4年目を迎え、行事については定例・固定化が図られています。毎年同じ内容かつ誰が実施しても同じ成果をあげ、ねらいをもったカリキュラムにより子どもたちに経験を積んでもらえることを目標としています。固定観念にしばられず「写真や映像を使って理解をしやすいようにすること」と「職員の負担を考慮し効率的な業務を実践すること」を並行して行いながらマニュアルや計画書の改定に取り組んでおり、完成が期待されます。
2	タイトル	水害被災時のさらなる対策実施を予定しています
	内容	火災・地震・不審者などの想定のもと避難訓練が毎月行われており、防犯カメラ・各種ロック・スプリンクラー・安全管理マニュアルの設置等セキュリティ設備が完備しています。水害被災時の避難方法については想定がなされており、さらなる安全対策として土嚢の購入等備品の充足を予定しています。
3	タイトル	職員のストレス蓄積・職責等について継続して管理や考慮をしていく意向をもっています
	内容	職員の処遇向上、勤務体制の細かな設定、非常勤職員の採用、休憩所や更衣室設置、ICTシステム導入など職員の労働環境向上に努めています。新型コロナウイルスの影響による職員のストレス蓄積には今後も継続した配慮の必要性を認識しており、また職員の担当や配置についても管理や考慮をしていく意向をもっています。

事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	3-2-1	利用者の意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応する体制を整えている
タイトル①	コロナ禍において配慮と工夫をしながら利用者の意向把握に努めています	
内容①	送迎時等でのコミュニケーションや連絡帳を中心に保護者からの意見聴取に努めています。保育ICTシステムを導入し、簡単に保護者へのアンケートを実施できる仕組みが構築されており、20回以上の実施がなされています。コロナ禍において配慮と工夫をしながら利用者の意向把握に努めています。	

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目	6-4-4	日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している
タイトル②	子どもたちの成長に鑑み、練習や過程を大事にした取り組みがなされています	
内容②	行事については子どもたちの成長や経験に影響がでないよう開催し、練習や過程を大事にした取り組みがなされています。生活発表会については生活や活動の中で覚えたことを表現していく方針が貫かれており、今年度は新型コロナウイルスの影響から映像撮影および室外からの鑑賞実施日を設けるなど特別な措置にて対応を図っています。	

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目	6-4-6	子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している
タイトル③	直接触れる等の制限を設けつつも工夫したかたちで食育を進めています	
内容③	子どもたちが食を身近に感じられるよう、野菜の栽培など多様な食育活動が取り入れられています。旬の素材の活用、食を通して人と関わることの楽しさ、食習慣を通して決まりを覚えることなどを大切に活動が多様になされています。今期においては新型コロナウイルスの影響により子どもたちが直接触れる等の制限を設けつつも工夫したかたちで食育を進めています。	

I 組織マネジメント項目(カテゴリー1～5、7)

No.	共通評価項目	
カテゴリー1		
1	リーダーシップと意思決定	
サブカテゴリー1(1-1)		
事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 7/7
評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を周知している		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている	○非該当
評価項目2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任を職員に伝えている	○非該当
●あり ○なし	2. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任に基づいて職員が取り組むべき方向性を提示し、リーダーシップを発揮している	○非該当
評価項目3 重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 重要な案件の検討や決定の手順があらかじめ決まっている	○非該当
●あり ○なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している	○非該当
●あり ○なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている	○非該当
カテゴリー1の講評		
アプリケーションを通じてタイムリーな情報発信がなされている 事業計画には経営方針・保育理念・保育目標等が記されており、職員に対して法人・園の考えを伝えている。また入園のしおりに、教育・保育理念、教育・保育目標、基本方針、主な取り組みが紹介されており、保護者・地域に向けて情報を発信している。またアプリケーションを通じて保育内容の変更等を配信しておりタイムリーな情報発信がなされている。		
職務分担により職務と職責を明確化している アウル宮前保育園職務分担表と題し、年度ごとに園長以下の職務について記名式にて明確化されている。地域性や保護者の特性に鑑みながら運営が進められており、職員・保護者の双方に対して丁寧かつ相手に合わせた対応が心掛けられている。相手を尊重した保育と運営の継続により本保育園独自の風土や文化が形成されている。		
アプリケーションの活用を通じて決定事項の伝達や連絡協議を行っている 新型コロナウイルスの影響により職員の自宅勤務等が実施されており、アプリケーションの活用により連絡手段を工夫しながら決定事項の伝達等対応にあたっている。またリモート機器を使用した会議を開催するなど職員間の情報共有が途絶えないよう取り組んでいる。緊急事態宣言下においては、解除後の活動内容の検討がなされており、段階をおって進められるよう取り組んでいる。		

カテゴリ-2		
2 事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行		
サブカテゴリ-1(2-1)		
事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 6/6
評価項目1 事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している		評点(○○○○○○)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向について情報を収集し、ニーズを把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所運営に対する職員の意向を把握・検討している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 地域の福祉の現状について情報を収集し、ニーズを把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)について情報を収集し、課題やニーズを把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 事業所の経営状況を把握・検討している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	6. 把握したニーズ等や検討内容を踏まえ、事業所として対応すべき課題を抽出している	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ-2(2-2)		
実践的な計画策定に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 5/5
評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画及び単年度計画を策定している		評点(○○○)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 課題をふまえ、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 中・長期計画をふまえた単年度計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 策定している計画に合わせた予算編成を行っている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 着実な計画の実行に取り組んでいる		評点(○○)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた、計画の推進方法(体制、職員の役割や活動内容など)、目指す目標、達成度合いを測る指標を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
カテゴリ-2の講評		
<p>アプリケーションを活用したアンケート実施等意見聴取に努めている</p> <p>送迎時等でのコミュニケーションや連絡帳を中心に保護者からの意見聴取に努めている。役員会が設置されており、コロナ禍において中断しているものの、今後の園運営にあたり話し合いがなされている。保育ICTシステムを導入し、簡単に保護者へのアンケートを実施できる仕組みが構築されており、20回以上の実施がなされている。配慮と工夫をしながら利用者の意向把握に努めている。</p> <p>全体的な計画等により年度の運営・活動の方針を示している</p> <p>中期計画が策定されており、組織の醸成・設備の整備、人事労務および経営基盤の確立等が示されている。年度の事業計画のほか保健計画・全体的な計画・年齢ごとの年間指導計画等々において、保育活動、安全管理体制、職員研修、行事予定などを記載し、園の活動を明示している。</p> <p>情報収集・暖かな協力等地域との交流がなされている</p> <p>区内園長会、地域懇談会、病後児保育連絡会等関係機関の会合への出席を通して地域ニーズや動向の把握に取り組んでおり、今年度については新型コロナウイルスの情報収集等にもあたっている。また小学校・中学校・公園など社会資源があつまる恵まれた環境を活かし、交流と親睦が図られており、今年度は小学校への見学ができないため、作成した動画を見せてもらうなど暖かな協力を得ている。</p>		

カテゴリ-3		
3 経営における社会的責任		
サブカテゴリ-1(3-1)		
社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 2/2
評価項目1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知し、遵守されるよう取り組んでいる 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 全職員に対して、社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などを周知し、理解が深まるよう取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などが遵守されるよう取り組み、定期的に確認している。	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ-2(3-2)		
利用者の権利擁護のために、組織的な取り組みを行っている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 4/4
評価項目1 利用者の意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応する体制を整えている 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用者の意向(意見・要望・苦情)に対し、組織的に速やかに対応する仕組みがある	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 虐待に対し組織的な防止対策と対応をしている 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 虐待を受けている疑いのある利用者の情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関と連携しながら対応する体制を整えている	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ-3(3-3)		
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 5/5
評価項目1 透明性を高め、地域との関係づくりに向けて取り組んでいる 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 透明性を高めるために、事業所の活動内容を開示するなど開かれた組織となるよう取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. ボランティア、実習生及び見学・体験する小・中学生などの受け入れ体制を整備している	<input type="radio"/> 非該当

評価項目2 地域の福祉ニーズにもとづき、地域貢献の取り組みをしている		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 地域の福祉ニーズにもとづき、事業所の機能や専門性をいかした地域貢献の取り組みをしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が地域の一員としての役割を果たすため、地域関係機関のネットワーク(事業者連絡会、施設長会など)に参画している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働できる体制を整えて、取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当

カテゴリ3の講評

自己評価等により振り返る機会を設定している

職務についての自己評価を実施しており、自身の業務を振り返るためのツールを整備している。また倫理規程が定められており、子どもの安全と健康を守るものとして児童福祉に資する姿勢が示されている。保育に従事する者として自身が持つ専門性の発揮、日常からの体調管理、自己啓発の姿勢などの意識を高められるよう日々の指導にあたっている。

職員のストレス緩和への配慮に努めている

権利擁護に関するチェックの実施がなされており、子どもの気持ちを大事にした保育がなされるよう園全体で取り組んでいる。職員が感情的に接してしまうことに対しては特に留意するよう指導にあたっている。新型コロナウイルスの影響による職員のストレス緩和についても配慮の必要性を認識しており、コミュニケーション等の工夫、アンガーマネジメントの考察等を進める意向をもっている。

中断・縮小している地域交流について再開が待たれる

個人情報保護、事故防止等が定められたボランティア受け入れ規程が設置されており、絵本の読み聞かせボランティア来訪など協力を受けている。隣接する中学校の就労体験への協力、保育士・栄養士の実習生の受け入れ、地域懇談会への参加、学校110番への協力など地域との協調や果たすべき役割について定着が図られている。新型コロナウイルスの影響により一部縮小・中断をしており、終息後の再開が待たれる。

カテゴリ4

4 リスクマネジメント

サブカテゴリ1(4-1)

リスクマネジメントに計画的に取り組んでいる

サブカテゴリ毎の
標準項目実施状況

5/5

評価項目1

事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる

評点(〇〇〇〇〇)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が目指していることの実現を阻害する恐れのあるリスク(事故、感染症、侵入、災害、経営環境の変化など)を洗い出し、どのリスクに対策を講じるかについて優先順位をつけている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 優先順位の高さに応じて、リスクに対し必要な対策をとっている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備え、事業継続計画(BCP)を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. リスクに対する必要な対策や事業継続計画について、職員、利用者、関係機関などに周知し、理解して対応できるように取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 事故、感染症、侵入、災害などが発生したときは、要因及び対応を分析し、再発防止と対策の見直しに取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当

サブカテゴリ-2(4-2)		
事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	4/4
評価項目1 事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		評点(0000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 情報の収集、利用、保管、廃棄について規程・ルールを定め、職員(実習生やボランティアを含む)が理解し遵守するための取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように整理・管理している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定するほか、情報漏えい防止のための対策をとっている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 事業所で扱っている個人情報については、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえ、利用目的の明示及び開示請求への対応を含む規程・体制を整備している	<input type="radio"/> 非該当
カテゴリ4の講評		
<p>訓練・設備設置等安全対策が講じられている</p> <p>火災・地震・不審者などの想定のもと避難訓練が毎月行われている。また防犯カメラ・各種ロック・安全管理マニュアルの設置等セキュリティ設備が完備しており、スプリンクラーの設置等子どもを安心して預けるための環境が整えられている。ヒヤリハット報告書への職員の意識付け、BCP策定など種々の安全対策が講じられている。また水害対策として土嚢の購入を予定している。</p> <p>個人情報の利用目的を明示・周知している</p> <p>重要事項説明書には、個人情報の守秘、徹底管理、必要時の協力を謳い、説明にあたっており、入園時には個人情報の利用目的について同意を得ている。またプライバシーポリシーと題し、個人情報の取得・利用・第三者提供・開示請求について定め、公表がなされている。ボランティア受け入れ規程にも受け入れ時の注意事項が定められている。</p> <p>情報保護に対する体制の整備がなされている</p> <p>子ども・家庭に関する紙媒体の重要書類についてはファイリングし、鍵付きのキャビネットにて保管がなされている。また保育ICTシステムを導入しえおり、業務の効率化とデータの保管・整理がなされている。また個人情報の取り扱いについて明確にし、適切な対応と園児および家庭の情報が保護されるよう体制の整備がなされている。</p>		
カテゴリ5		
5	職員と組織の能力向上	
サブカテゴリ-1(5-1)		
事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成・定着に取り組んでいる	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	12/12
評価項目1 事業所が目指していることの実現に必要な人材構成にしている		評点(00)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が求める人材の確保ができるよう工夫している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が求める人材、事業所の状況を踏まえ、育成や将来の人材構成を見据えた異動や配置に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 事業所の求める人材像に基づき人材育成計画を策定している		評点(00)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)が職員に分かりやすく周知されている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)と連動した事業所の人材育成計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当

評価項目3 事業所の求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる		評点(0000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 勤務形態に関わらず、職員にさまざまな方法で研修等を実施している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 職員一人ひとりの意向や経験等に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員一人ひとりの育成の成果を確認し、個人別の育成(研修)計画へ反映している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 指導を担当する職員に対して、自らの役割を理解してより良い指導ができるよう組織的に支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当

評価項目4 職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる		評点(0000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価と処遇(賃金・昇進・昇格等)・称賛などを連動させている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、職場環境・健康・ストレスなど)を把握し、安心して働き続けられる職場づくりに取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員の意識を把握し、意欲と働きがいの向上に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 職員間の良好な人間関係構築のための取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当

サブカテゴリ2(5-2)		
組織力の向上に取り組んでいる	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	3/3

評価項目1 組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に取り組んでいる		評点(000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 職員一人ひとりが学んだ研修内容を、レポートや発表等を通じて共有化している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに話し合い、サービスの質の向上や業務改善に活かす仕組みを設けている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 目標達成や課題解決に向けて、チームでの活動が効果的に進むよう取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当

カテゴリ5の講評	
<p>的を絞った人材獲得に着手しており、本園の保育を実践できる人材の確保にあたっている</p> <p>人材の募集については多様な機関・メディア活用を収斂し、的を絞った人材獲得に着手しており、本園の保育を実践できる人材の確保にあたっている。新入職員に対しては、保育全体の指導に結び付けられるよう配慮に努めており、職員一人ひとりの成長をサポートしている。新型コロナウイルス蔓延防止策を図る中、職員との連携を図れるようアプリケーションの活用等がなされている。</p> <p>休憩室の設置、ICTの活用等働きやすさへの配慮にあたっている</p> <p>職員の処遇向上、勤務体制の細かな設定、非常勤職員の採用等職員が働きやすい環境形成に取り組んでいる。休憩所や更衣室にも十分なスペースが確保されており、職員の労働環境の向上を考慮した造りになっている。ICTシステムの導入による業務効率の向上、時間外労働の削減、希望する日程での公休設定、有給休暇の取得促進等職員の働きやすさへの配慮にあたっている。</p> <p>安全へ配慮した職員配置が実現している</p> <p>細かな職務・役割についての職務分担表への明記、研修計画の策定等キャリアパスの設定による処遇改善計画の実行がなされている。複数の看護師が在籍していること・保育士資格とのダブルライセンスもいることから子どもたちの安全に配慮した職員配置が実現している。クラス内の職員をまとめる・方向性の統一を図るなどリーダーが力を発揮できる環境形成を目標としている。</p>	

カテゴリ-7

7 事業所の重要課題に対する組織的な活動

サブカテゴリ-1(7-1)

事業所の重要課題に対して、目標設定・取り組み・結果の検証・次期の事業活動等への反映を行っている

評価項目1

事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その1)

前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)

保護者との密なるコミュニケーションは永年のテーマとして取り組んでおり、昨年度は特に注力するよう目標を設定している。各種計画の配布、情報の掲示等を通して園での生活や方針を家庭と共有するよう取り計らっている。またICTシステムによりタイムリーに相談や連絡ができるため活用により忙しい保護者へのサポートとして活用している。簡単に保護者へのアンケートを実施できる仕組みが構築されていることから、今年度は新型コロナウイルスの影響から20回以上の実施がなされており、配慮と工夫をしながら利用者の意向把握に努めている。

<p>目標の設定と取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った <input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった <input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていなかった
<p>取り組みの検証</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った <input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった(目標設定を行っていなかった場合も含む) <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
<p>検証結果の反映</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた <input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である

評価項目1で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評

保護者への配慮は、コミュニケーションを密にするほか延長保育の実施、慣らし保育の短縮等保護者の就労を考慮した支援に努めている。紙おむつの園での廃棄は、衛生面だけでなく保護者への負担をなるべく軽減できるよう配慮して実施している。また病後児保育については、在園児の利用も多く、働く保護者へ心強いサポートとなっている。

評価項目2

事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その2)

前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)

人材の確保に対しては適正配置と適切な保育実施のため、多様な機関・メディア活用をし、人材の募集がなされている。検証の結果これまでの活動を収斂し、的を絞った人材獲得に着手しており、成果を確認している。特に看護師については複数名の配置が実現しており、子どもたちの健康管理の充実につなげている。また特に本年度は新型コロナウイルスの影響からその充実が活用されている。

目標の設定と取り組み	<ul style="list-style-type: none"><input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った<input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった<input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていなかった
取り組みの検証	<ul style="list-style-type: none"><input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った<input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった(目標設定を行っていなかった場合も含む)<input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
検証結果の反映	<ul style="list-style-type: none"><input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた<input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない<input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である

評価項目2で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評

人材の確保へは毎年度注力した取り組みがなされており、あわせて入職員に対しては、保育全体の指導に結び付けられるよう配慮に努め、職員一人ひとりの成長をサポートしている。特に細かな職務・役割についての職務分担表への明記、研修計画の策定等キャリアパスの設定による処遇改善計画の実行がなされている。今期については新型コロナウイルス蔓延防止策を図る中、職員との連携を図れるようアプリケーションの活用等がなされている。

Ⅱ サービス提供のプロセス項目(カテゴリ6-1～3、6-5～6)

No.	共通評価項目	
サブカテゴリ1		
1	サービス情報の提供	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 4/4
評価項目1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ1の講評		
<p>ホームページに活動内容や園の様子を掲載し、情報発信がなされている</p> <p>法人のインターネットサイトが設置されており、併せて本園のページが設定されている。方針・行事・活動内容・日課等の情報が掲載されており、園内の様子がわかるよう写真の掲載、英語教室・国語教室等カリキュラムの説明も載せられている。また区のホームページにも一覧および園の概要が掲載されており、多くの方々から園の存在を知ることができるよう配慮されている。</p> <p>持ち物の写真を掲載するなど配慮したしおりが作成されている</p> <p>入園のしおりについては、保護者が準備する持ち物について写真入りの解説をつけるなどより具体的に理解できる内容となっている。またしおりと一緒に毎年度受審している福祉サービス第三者評価結果についても言及し、園への理解が深まるよう努めている。利用希望者の質問に対してはあらかじめ回答を用意し、疑問に感じていることを網羅できる内容としている。</p> <p>オンラインを使用し、入園希望者への説明会を開催している</p> <p>新型コロナウイルスへの影響から入園希望者の見学はオンラインによる説明会を開催している。月に2回の実施をしており、接続時間も日中や夕方など時間帯を変えて行うなど工夫にあたっている。説明のあとには参加者の質問に答え、また個人的な相談時間を設けるなど配慮がなされている。在園児の健康と衛生、入園希望者の要望とのバランスが考慮されており、隅々までの配慮に本園らしさを感じることができる。</p>		

サブカテゴリー2			
2	サービスの開始・終了時の対応	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	6/6
評価項目1 サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している		○非該当
●あり ○なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている		○非該当
●あり ○なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している		○非該当
評価項目2 サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. サービス開始時に、子どもの保育に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している		○非該当
●あり ○なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように配慮している		○非該当
●あり ○なし	3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている		○非該当
サブカテゴリー2の講評			
<p>リモート機器使用・事前の書類郵送など工夫が図られた説明がなされている 新型コロナウイルスの影響から今年度の入園時説明会はリモート機器を利用して行い、入園のしおり・重要事項説明書を用いて利用時間、職員構成、緊急時対応等留意事項を説明している。事前に提出書類は郵送してもらうなど時間短縮を図っている。また全保護者に日程の希望を聞いたうえで個人面談を実施しており、家庭との連携を深めるよう取り組んでいる。</p> <p>慣らし保育や在園児のリスタートについてもあらかじめ計画し、対応を図っている 入園時には子どもたちに安全・安心に過ごしてもらえ、保護者に寄り添った支援を念頭に安定した園運営が心掛けられている。特に今年度は緊急事態宣言により入園時期が移行していることから慣らし保育や在園児のリスタートについてもあらかじめ計画し、対応を図っている。また入園後もいつでも相談に応じられるよう個人面談の実施に対しては申請用紙の設置等整備がなされている。</p> <p>生活の変化に対して保護者や職員があせることのないよう指導にあたっている 小学校への接続に対しては生活習慣の変更等を行っており、更に小学校との連携を深め、就学に対しても他の取り組み同様丁寧かつ継続性のある支援を実践している。今年度は小学校への見学ができないことから小学校サイドで動画を作成し、校内の雰囲気やわかるよう協力がなされている。年長児をはじめ在園児にとってもはじめての生活の変化であり、保護者や職員があせることのないよう指導にあたっている。</p>			

サブカテゴリー3		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	12/12
3	個別状況に応じた支援方針作成・記録		
評価項目1 定められた手順に従ってアセスメント(情報収集、分析および課題設定)を行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している		○非該当
●あり ○なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している		○非該当
●あり ○なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている		○非該当
評価項目2 全体的な計画や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している		評点(〇〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 指導計画は、全体的な計画を踏まえて、養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している		○非該当
●あり ○なし	2. 指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化に即して、作成、見直しをしている		○非該当
●あり ○なし	3. 個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況(年齢・発達状況など)に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている		○非該当
●あり ○なし	4. 指導計画を保護者にわかりやすく説明している		○非該当
●あり ○なし	5. 指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定め、必要に応じて見直しをしている		○非該当
評価項目3 子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある		○非該当
●あり ○なし	2. 指導計画に沿った具体的な保育内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している		○非該当
評価項目4 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 指導計画の内容や個人の記録を、保育を担当する職員すべてが共有し、活用している		○非該当
●あり ○なし	2. 申し送り・引継ぎ等により、子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報を職員間で共有化している		○非該当
サブカテゴリー3の講評			
情報共有・家庭との連携を図るため各種書類の提出がなされている 入園時には家庭状況調査票をはじめ、子どもたちの健康・生活状態について書類を提出してもらい、その後の園生活の環境を整えるために役立てられている。特に食物アレルギー等配慮が必要な子どもについては安全に生活できるよう対応を図っている。また保育日誌等を通じて子どもたちの情報を共有し、園全体で見守れるよう努めている。			
計画立案および実践保育においてつながりを意識するよう指導にあたっている 全体的な計画は、年齢ごとの保育目標のほか情報保護・苦情解決・人権尊重等の方針が定められている。方針は考えのベースになるようどっしりとしたものとなっており、状況等の変化を考慮しながら策定にあたっている。また年間指導計画をもとに月案、週案が策定されており、全てにおいてつながりを意識するよう職員への指導にあたっている。			
記録の電子化により業務効率の向上を図っている 保育ICTシステムを導入し、記録の電子化がなされている。これまでの既存の資料についてもデータ化し端末より閲覧できるよう整備されている。業務効率の最適化を目標として導入されていることから紙媒体についても使い勝手の良さを考慮し、併用するなど柔軟な対応がなされている。			

サブカテゴリ-5		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	5/5
5	プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重		
評価項目1 子どものプライバシー保護を徹底している		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外部和やりとりする必要が生じた場合には、保護者の同意を得るようにしている		○非該当
●あり ○なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した保育を行っている		○非該当
評価項目2 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している		○非該当
●あり ○なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている		○非該当
●あり ○なし	3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている		○非該当
サブカテゴリ-5の講評			
<p>個人情報の利用目的を説明し、同意を得ている 法人ホームページには個人情報保護方針が謳われており、その中で、「個人情報の利用について・個人情報の第三者への提供について」記載がなされている。個人情報保護法第23条に定める以外同意を得ることなく第三者に提供しないことを約しており、適切な取り扱いに取り組んでいる。また入園時には個人情報の利用目的を定めた書面を配布・説明し、同意を得ている。</p> <p>プライバシーへの配慮・セキュリティの整備がなされた環境となっている 道路からは、園庭や保育室が見えない造りとなっており、子どもたちが安心して遊び・過ごすことができる環境が整えられている。またオートロック・防犯カメラの設置などプライバシーとセキュリティが保全されている。おむつ替え・着替え・プール活動等も遮光ネットやホワイトボードを活用し子どもの羞恥心に配慮するよう努めている。</p> <p>権利擁護に対する確認と指導により子どもたちを尊重した保育に取り組んでいる 権利擁護に関するチェックの実施・職員自己評価等により子どもたち一人ひとりの尊重について指導・周知を図っている。職員会議等機会を設けて都度子どもの意思の尊重について話し合いにあたっている。また職員は身近に接する大人として子どもたちの見本となることを求められており、適切な対応がとれるよう職員の指導にあたっている。</p>			

サブカテゴリー6		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況	5/5
6	事業所業務の標準化		
評価項目1 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	<input type="radio"/> 非該当	
評価項目2 サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は改変の時期や見直しの基準が定められている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている	<input type="radio"/> 非該当	
サブカテゴリー6の講評			
<p>各種マニュアルの整備とデータ化が進められている</p> <p>看護、食育、英語活動、絵本の読み聞かせ、玩具点検、園庭管理などのマニュアルが整備されており、子どもたちが安心して過ごせるよう業務の標準化にあっている。また勤務時間帯別の業務マニュアルも設定しており、効率的かつ責任ある業務となるよう取り組んでいる。BCPの策定がなされており、マニュアルのデータ化など整備がなされている。</p> <p>あらかじめ準備をし、会議の効率化を図るなど工夫がなされている</p> <p>話し合いで決められたことについては、理解をし留意して業務を進められていることに対してこれまでの取り組みの効果と成果を認識している。申し送り・職員会議・リーダー会議により情報の周知を図り、経験が浅い職員に対してはリーダー・主任・副主任等管理職が指導をする体制が整備されている。今年度はあらかじめ準備を図りながら会議を実施し、効率化を図るなど工夫がなされている。</p> <p>行事マニュアルの改訂が進められている</p> <p>開園から4年目を迎え、行事については定例・固定化が図られている。毎年同じ内容かつ誰が実施しても同じ成果をあげ、ねらいをもったカリキュラムにより子どもたちに経験を積んでもらえることを目標としている。固定観念にしばられず、「写真や映像を使って理解をしやすくすること」と「職員の負担を考慮して効率的に行うこと」を並行しながら改訂が進められている。</p>			

Ⅲ サービスの実施項目(カテゴリー6-4)

サブカテゴリー4	
サービスの実施項目	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 35/35
<p>1 評価項目1 子ども一人ひとりの発達の状態に応じた保育を行っている</p> <p style="text-align: right;">評点(〇〇〇〇〇〇)</p>	
評価	標準項目
●あり ○なし	1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで保育を行っている
●あり ○なし	2. 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけができるよう、環境を工夫している
●あり ○なし	3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している
●あり ○なし	4. 特別な配慮が必要な子ども(障害のある子どもを含む)の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している
●あり ○なし	5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか・かみつき等)に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている
●あり ○なし	6. 【5歳児の定員を設けている保育所のみ】 小学校教育への円滑な接続に向け、小学校と連携をとって、援助している
評価項目1の講評	
<p>テラスの利用、敷地内の散策など工夫を凝らした活動がなされている</p> <p>子どもたち自身が考え、友だちや遊びに関心をもつことを尊ぶ保育を実践しており、幼児に対しては注力した取り組みがなされている。子どもたちだけで会議をし、集団の中で表現することや周囲を思う気持ちを育む環境を提供している。今年度は新型コロナウイルスの影響もあり様々な活動に対して制限がある中、テラスの利用、敷地内の散策など工夫を凝らしている。</p> <p>空間の共有によりクラスに閉じこもらない保育を実践している</p> <p>保育室はクラスごとに壁で仕切られている部分と空間を共有している部分とが共存した工夫した造りとなり、クラスに閉じこもらない保育を実践している。毎週金曜日は縦割り保育を実施しており、異年齢に対する優しさやいたわりを培い、生活する中で人間関係を構築できる保育を目指している。</p> <p>関係機関との連携・情報共有により支援にあたっている</p> <p>配慮の必要な子どもに対しては子ども家庭支援センターや行政等関係機関と連携し、支援に努めている。巡回指導時など報告・連絡を通して情報の共有に努めており、連携をもって子どもにとって最善の支援提供ができるよう協力している。また外国籍の保護者等に対しても丁寧に説明し、保育園生活で困ることがないようにサポートにあたっている。</p>	
<p>2 評価項目2 子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した保育を行っている</p> <p style="text-align: right;">評点(〇〇〇〇)</p>	
評価	標準項目
●あり ○なし	1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している
●あり ○なし	2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう援助している
●あり ○なし	3. 休息(昼寝を含む)の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している
●あり ○なし	4. 降園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている
評価項目2の講評	
<p>保護者とのコミュニケーションをもって子どもの状態の把握に努めている</p> <p>登園時には顔色、健康状態を視診し、保護者とのコミュニケーションをもって子どもの状態の把握に努めている。また降園時以降の喫食・健康状況についても連絡帳等にて確認し、把握したうえで保育の臨むよう取り組んでいる。コロナ禍にあつて保護者とのコミュニケーション不足を補うためITシステムを活用し、情報発信に注力がなされている。また保健計画の配布、園内の衛生・保健情報の掲示を通して家庭と連携しながら子どもの健康維持にあたっている。</p> <p>無理強いすることなく自然に生活習慣の習得に取り組んでいる</p> <p>トイレトレーニングについては園が主導するかたちで家庭の意向を伺い、無理強いすることなく自然に身につけられるよう取り組んでいる。また離乳食についても栄養士が中心となり、家庭での喫食状況を確認しながらメニューの策定がなされている。歯磨きについては低年齢児からはじめ、最後は職員による仕上げ磨きがなされていたが、新型コロナウイルスの影響から一部縮小・中断するなど衛生へ配慮しながら対応にあたっている。</p> <p>就学以降を見据え、自立と自律を意識した保育の実践に努めている</p> <p>思い切り遊ぶ・きちんと話を聞くなど場面ごとにメリハリを大事にした保育を実践しており、午睡については体を休めることを主眼に柔軟に対応している。午睡時のパジャマの着用については、着脱を覚えることを主眼として行われており、中履きの使用等についても保護者に対して子どもたちの成長を願う園の思いを説明した上で実施している。就学以降を見据え、自立と自律を意識した保育の実践に努めている。</p>	

3 評価項目3 日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している		評点(〇〇〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している	○非該当
●あり ○なし	3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉による伝え合いを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している	○非該当
●あり ○なし	4. 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている	○非該当
●あり ○なし	5. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている	○非該当
●あり ○なし	6. 生活や遊びを通して、子どもがきまりの大切さに気付き、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している	○非該当
評価項目3の講評		
<p>集団生活の中で自己表現とルールを覚える機会を設けている 当番が前に出て発表をする機会や子どもたち自身で会議をする機会をつくるなど皆の前で自己を表現する機会を持ち、主体的に取り組めるよう日常より保育にあたっている。またきちんと話を聞く、列をつくる、挨拶をする、整理整頓をするなど決まりやルールを教え、就学後の生活を見据えながら取り組んでいる。</p> <p>子どもの創造性を育むプログラムと環境を有している 英語活動など外部講師を招いての教育がなされており、積極的に表現教育に取り組んでいる。ピアノにあわせての合唱、体操・ダンスなど体を使って楽しむことも取り入れ、総合的な指導となるよう環境設定がなされている。また制作活動を集中して行える工作室も設置するなど子どもの創造性を育むプログラムと環境を有している。</p> <p>プール活動など衛生環境に配慮し継続した取り組みがなされている 園庭は遊具等に工夫が凝らされており、夕方でも子どもたちが元気に遊ぶことができるスペースを有している。近隣には大小複数の公園や神社がある恵まれた環境にあり、散歩等皆でかけ、楽しい活動がなされている。また今期はコロナ禍にあっても夏季のプール活動は、衛生環境に配慮しながら遊び方や着衣に工夫をしながら行っている。</p>		
4 評価項目4 日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している	○非該当
●あり ○なし	2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	○非該当
●あり ○なし	3. 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている	○非該当
評価項目4の講評		
<p>特別な措置にて生活発表会を鑑賞できるよう配慮している 年間行事計画および行事計画書が立案されており、スケジュール、工程など綿密な計画をたて、目的を明確にし目標をもって取り組むことが心がけられている。生活発表会は、日々の保育内容や成長の成果を保護者に理解してもらえ内容となっており、年齢毎に2回に分けて開催するなど工夫を加えながら改善にあたっている。今年度は新型コロナウイルスの影響から映像撮影および室外からの鑑賞実施日を設けるなど特別な措置にて対応を図っている。</p> <p>恵まれた環境を活かし、行事の充実を図っている 近隣に大型の体育館や中学校を有する恵まれた環境を活かし、運動会・生活発表会等の行事の際に協力を依頼している。毎月の誕生会、クリスマス会、敬老会、お月見会など季節の行事を多様に取り入れ、伝統の承継にも寄与できるよう取り組んでいる。日々の活動と成長が行事を通して形として結実できるよう取り組んでいる。また開設より4年目が経過する中で行事の固定化・定例化が図られており、どの職員でも高いレベルで行事の開催ができるよう映像や写真を使ったマニュアルの修正に取り組んでいる。</p> <p>コロナ禍の中で練習や過程を大事にした行事への取り組みがなされている 今年度は新型コロナウイルスの影響を受け衛生上の配慮が必要であったものの、工夫によりなるべく活動の縮小を防げるよう取り組んでいる。保護者の参加は難しいものの、子どもたちの成長や経験に影響がでないよう開催し、練習や過程を大事にした取り組みがなされている。また生活や活動の中で覚えたことを表現していく方針も貫かれている。</p>		

5 評価項目5 保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 保育時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている	○非該当
●あり ○なし	2. 保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている	○非該当
評価項目5の講評		
<p>子どもと保護者を把握し、子どもたちの体を休めながら保育にあたっている</p> <p>一定の時間以降は、合同保育を実施しており、異年齢による遊びにおいても安全が確保されるよう職員間で連携を図りながら見守りがなされている。また家庭での睡眠や喫食状態を確認し、総合的に衛生と安全が確保されるよう取り組んでいる。担当であるないに関わらず、全職員がすべての子どもと保護者を把握し、子どもたちの体を休めながら保育にあたっている。</p> <p>ゆったりと過ごすことができる十分なスペースが確保された環境となっている</p> <p>0歳、1歳の部屋は畳が敷かれており、ゆったりと過ごすことができる十分なスペースが確保された環境となっている。また医務室の設置、看護師の配置により体調を崩した子どもに対しても適切な対応がとれるよう体制が構築されている。保育が長時間にわたる場合は絵本や紙芝居の読み聞かせなど静的な活動を取り入れ、子どもの体調を見ながら一人ひとりへの対応に努めている。</p>		
6 評価項目6 子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している	○非該当
●あり ○なし	2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	○非該当
●あり ○なし	3. 子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している	○非該当
●あり ○なし	4. 食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動等)を行っている	○非該当
評価項目6の講評		
<p>パーティションやおしぼりの使用等衛生・健康環境の配慮にあたっている</p> <p>定期において給食会議を開催し、子どもたちの嗜好、喫食状況、野菜の切り方や固さなどの提供状態の意見交換をし、より良い給食提供への参考としている。栄養士・調理員が子どもたちと一緒に食事をしながら配膳や喫食状況を確認しており、連携をとりながら安全で健康な食事が実施されるよう取り組んでいる。今期においては新型コロナウイルスの影響からバイキング形式の食事は中断しており、パーティションやおしぼりの使用等衛生・健康環境の配慮にあたっている。</p> <p>食事提供に対して安全に対するオペレーションが確立している</p> <p>食物アレルギーを持つ子どもに対しては、給食会議での確認、保護者への通達、日々の確認がなされており、安全に対するオペレーションが確立している。また提供の際には、トレーの色やテーブルを状況に応じて変えるなど万全を期すよう取り組んでいる。また給食の保管時間についても徹底し、食中毒防止にあたっている。</p> <p>制限を設けつつ、工夫したかたちで食育を進めている</p> <p>子どもたちが食を身近に感じられるよう、野菜の栽培など多様な食育活動が取り入れられている。また子どもたちも給食作りに参加するなど積極的な食育活動がなされている。旬の素材の活用、食を通して人と関わることの楽しさ、食習慣を通して決まりを覚えることなどを大切に活動が多様になされている。今期においては新型コロナウイルスの影響により子どもたちが直接触れる等の制限を設けつつも工夫したかたちで食育を進めている。</p>		

7 評価項目7 子どもが心身の健康を維持できるよう援助している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように援助している	○非該当
●あり ○なし	2. 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている	○非該当
●あり ○なし	3. 保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み(乳幼児突然死症候群の予防を含む)を行っている	○非該当
評価項目7の講評		
<p>新型コロナウイルスについて厳格な取り組みがなされている</p> <p>複数名の看護師が配置されており、子どもたちの健康管理にあたっている。手洗い・うがいの励行、消毒、保護者への注意喚起等により感染症蔓延予防に対策を講じている。今期の新型コロナウイルスの対策として、マスク等備品の早めの確保、保護者の入室場所・通行方向の限定・入室制限、パーティションの使用、玩具等消毒管理、おしぼりの使用と衛生管理等々厳格な取り組みがなされている。</p> <p>SIDS(乳幼児突然死症候群)の予防として対策を講じている</p> <p>ヒヤリハット報告書については、職員の意識付けに対して継続して指導を行っており、職員自身が事故を未然に防ぐためのセンサーをもてるよう啓発にあたっている。報告書の確認を通して要因分析、周知、情報共有をし、再発・事故防止に取り組んでいる。またSIDS(乳幼児突然死症候群)の予防として、午睡時の定間隔でのチェックと記録、キッズベッドの使用など対策を講じている。</p> <p>子どもたちが健やかに過ごすための環境を整えるよう取り組んでいる</p> <p>朝の視診、体温チェック、清掃分担、医務室の設置など子どもたちが健やかに過ごすための環境を整えるよう取り組んでいる。保健計画の立案、保健だよりの保護者への配布を通して保健衛生への関心をもってもらえるよう取り組んでいる。また昨今の子どもたちの体力低下に鑑み、園内活動での意識、家庭での運動の推奨等に努めている。</p>		
8 評価項目8 保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている		評点(〇〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている	○非該当
●あり ○なし	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている	○非該当
●あり ○なし	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている	○非該当
●あり ○なし	4. 子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	○非該当
●あり ○なし	5. 保護者の養育力向上のため、園の保育の活動への参加を促している	○非該当
評価項目8の講評		
<p>各家庭の要望や意見を聴取に努めている</p> <p>入園時には個人面談を実施しており、各家庭の要望や意見を聴取している。保護者からの要望に基づき入園時ばかりでなく随時希望者は個人面談をできるようにしており、申込用紙等を設置し対応を図っている。今年度に関してはリモート機器を活用した参観等により保育風景を見てもらうよう工夫に努めており、生活発表会についても映像での記録鑑賞・室外からの鑑賞機会創設等がなされている。来年度は年度当初にリモート機器を活用した懇談会を予定している。</p> <p>ICTシステムによりタイムリーな相談・連絡対応を可能としている</p> <p>延長保育の実施、慣らし保育の短縮等保護者の就労を考慮した支援に努めている。紙おむつの園での廃棄は、衛生面だけでなく保護者への負担をなるべく軽減できるよう配慮して実施している。また病後児保育については、在園児の利用も多く、働く保護者へ心強いサポートとなっている。ICTシステムによりタイムリーに相談や連絡ができるため活用により忙しい保護者へのサポートとして活用されている。</p> <p>登降園時の声掛け、連絡帳でのやりとりを通して情報を把握している</p> <p>登降園時の声掛け、連絡帳でのやりとりを通して家庭での状況や健康状態の情報を把握している。また保護者が参加する行事等でもコミュニケーションを図り、信頼関係が構築できるよう取り組んでいる。開園当初から比べると入園児の数が増え「できること・できないこと」を判別しながら子どもたちと保護者に寄りそう運営を継続していくことを表明している。</p>		

9 評価項目9 地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 地域資源を活用し、子どもが多様な体験や交流ができるような機会を確保している	○非該当
●あり ○なし	2. 園の行事に地域の人参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	○非該当
評価項目9の講評		
<p>併設した高齢者施設とは配慮した親睦にとどめている</p> <p>介護保険地域密着型サービス事業所と併設されており、地域交流・世代間交流について重視したコンセプトを持っている。事業計画への盛り込み、具体的施策の実施等そのコンセプトに沿った活動がなされている。高齢者を喜ばせることができる子どもたちの力と保護者の理解により成り立っている。コロナ禍にあつては行事等の交流は控えており、施設内から手を振るなどソーシャルディスタンスを配慮した親睦にとどめている。</p> <p>小学校への見学ができないため、小学校側からの協力がなされている</p> <p>区の図書サービスの利用、中学校、公園、体育館の活用など地域の社会資源を使い、地域とともに子どもを育てる環境となるよう取り組んでいる。近隣には神社があり、お祭り時に神輿を見学するなど伝統文化に触れる機会ともなっている。今期は年長児童の小学校への見学ができないため、小学校側が作成した映像を見るなど心温まる配慮がなされている。</p>		

調査対象

全園児146名に対する全121世帯の保護者等を単位・対象として実施。

調査方法

事業所より利用者調査票を各世帯に配布。利用者が郵送・WEBのどちらかを選択して評価機関に直接回答。

利用者総数
利用者家族総数(世帯)
共通評価項目による調査対象者数
共通評価項目による調査の有効回答者数
利用者家族総数に対する回答者割合(%)

利用者総数	146
利用者家族総数(世帯)	121
共通評価項目による調査対象者数	121
共通評価項目による調査の有効回答者数	88
利用者家族総数に対する回答者割合(%)	72.7

利用者調査全体のコメント

・園の総合的感想については、「大変満足」が52.3パーセント、「満足」が44.3パーセント、「どちらともいえない」が2.3パーセント、「不満」が1.1パーセント、「大変不満」が0パーセント、「無回答」が0パーセントとなっている。【感謝・賞賛】感染対策、詳細な連絡、環境の整備、子ども本位の保育、教育の実施、行事の充実、コロナ禍での配慮、【不満・要望】アプリに依存、戸外活動・体を動かすプログラムの増加、様子がわからない、職員の紹介、室内カメラの設置、役員会費用の検討、延長保育の対応、アプリへの対応、行事の開催【本調査への意見】質問項目が毎年同じ、コロナ禍で答えられない項目がある、インターネットで回答できる、区全体での保育の質の向上を望む、WEB回答の機能の充実

利用者調査結果

共通評価項目 コメント	実数			
	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
1. 保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか	86	2	0	0
「はい:役立っている」が97.7パーセント、「どちらともいえない」が2.3パーセント、「いいえ」が0パーセント、「無回答・非該当」が0パーセントの回答となっている。行事の充実、カリキュラムの充実、教育の充実、コロナ対応への感謝、経験を増やせているなど賞賛の声があった。体を動かすプログラムの増加、他の子どもからの影響への心配等要望の声があった。				
2. 保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか	85	3	0	0
「はい:なっている」が96.6パーセント、「どちらともいえない」が3.4パーセント、「いいえ」が0パーセント、「無回答・非該当」が0パーセントの回答となっている。行事の充実、多様な工夫、家庭でできない活動の実施等賞賛の声があった。体を動かす時間の増加について要望の声があった。				
3. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	83	3	1	1
「はい:配慮されている」が94.3パーセント、「どちらともいえない」が3.4パーセント、「いいえ」が1.1パーセント、「無回答・非該当」が1.1パーセントの回答となっている。行事食の充実、栄養バランスの良さ、家庭で提供できないメニュー等賞賛の声があった。食事量、おやつ素材について不満・要望の声があった。				

4. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	48	25	13	2
「はい:関わっている」が54.5パーセント、「どちらともいえない」が28.4パーセント、「いいえ」が14.8パーセント、「無回答・非該当」が2.3パーセントの回答となっている。コロナ禍での尽力について感謝の声があった。またコロナ禍により戸外活動が減っていることについて不満・要望の声があった。				
5. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	59	8	3	18
「はい:対応されている」が67.0パーセント、「どちらともいえない」が9.1パーセント、「いいえ」が3.4パーセント、「無回答・非該当」が20.5パーセントの回答となっている。土曜保育の利用、延長保育の利用、申請方法、コロナ禍での対応について不満・要望の声があった。				
6. 安全対策が十分取られていると思うか	70	15	1	2
「はい:対応されている」が79.5パーセント、「どちらともいえない」が17.0パーセント、「いいえ」が1.1パーセント、「無回答・非該当」が2.3パーセントの回答となっている。迅速な対応、対策が十分である、コロナ対策が十分である等賞賛の声があった。コロナ禍で様子かわからない旨の意見が多数あった。				
7. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	73	8	1	6
「はい:十分である」が83.0パーセント、「どちらともいえない」が9.1パーセント、「いいえ」が1.1パーセント、「無回答・非該当」が6.8パーセントの回答となっている。コロナ禍で工夫している、コロナ禍で縮小され残念である旨の双方の意見があった。				
8. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	56	22	8	2
「はい:信頼関係がある」が63.6パーセント、「どちらともいえない」が25.0パーセント、「いいえ」が9.1パーセント、「無回答・非該当」が2.3パーセントの回答となっている。コロナ禍で話す機会が減少している、アプリを通してのコミュニケーションが増えている等の意見があった。				
9. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	75	9	0	4
「はい:行き届いている」が85.2パーセント、「どちらともいえない」が10.2パーセント、「いいえ」が0パーセント、「無回答・非該当」が4.5パーセントの回答となっている。コロナ禍で入室しないためわからない旨の意見があった。				
10. 職員の接遇・態度は適切か	80	7	1	0
「はい:適切である」が90.9パーセント、「どちらともいえない」が8.0パーセント、「いいえ」が1.1パーセント、「無回答・非該当」が0パーセントの回答となっている。適切である旨の意見、改善を求める意見の双方があった。				

11. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	76	10	1	1
「はい:信頼できる」が86.4パーセント、「どちらともいえない」が11.4パーセント、「いいえ」が1.1パーセント、「無回答・非該当」が1.1パーセントの回答となっている。対応への信頼、連絡の迅速さ、看護師への信頼等賞賛の声があった。職員により差異がある旨の意見もあった。				
12. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	56	20	1	11
「はい:信頼できる」が63.6パーセント、「どちらともいえない」が22.7パーセント、「いいえ」が1.1パーセント、「無回答・非該当」が12.5パーセントの回答となっている。対応、連絡の適切さについて賞賛の声があった。またトラブル時の情報伝達について要望の声があった。またトラブル等が特にない旨の意見もあった。				
13. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	79	6	1	2
「はい:対応されている」が89.8パーセント、「どちらともいえない」が6.8パーセント、「いいえ」が1.1パーセント、「無回答・非該当」が2.3パーセントの回答となっている。意見を聞いてくれる、子ども主体で考えてくれる等感謝の声があった。職員の対応への不満、不明である旨の意見があった。				
14. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか	70	7	0	11
「はい:守られている」が79.5パーセント、「どちらともいえない」が8.0パーセント、「いいえ」が0パーセント、「無回答・非該当」が12.5パーセントの回答となっている。玄関先での会話となるため聞こえてしまうのは致し方ないとの意見があった。				
15. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか	72	14	2	0
「はい:わかりやすい」が81.8パーセント、「どちらともいえない」が15.9パーセント、「いいえ」が2.3パーセント、「無回答・非該当」が0パーセントの回答となっている。アプリの活用、詳細な説明に対して感謝の声があった。また説明の不足、家庭との連携について要望の声があった。				
16. 利用者の不満や要望は対応されているか	71	6	0	11
「はい:対応されている」が80.7パーセント、「どちらともいえない」が6.8パーセント、「いいえ」が0パーセント、「無回答・非該当」が12.5パーセントの回答となっている。改善への反映に対して不満の声があった。				
17. 外部の苦情窓口(行政や第三者委員等)にも相談できることを伝えられているか	39	23	3	23
「はい:伝えられている」が44.3パーセント、「どちらともいえない」が26.1パーセント、「いいえ」が3.4パーセント、「無回答・非該当」が26.1パーセントの回答となっている。説明があった、必要性がない等の意見があった。				

1	<p>理念・方針（関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）</p> <p>事業者が大切にしている考え（事業者の理念・ビジョン・使命など）のうち、特に重要なもの（上位5つ程度）を簡潔に記述 （関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）</p> <p>1)法人理念「みんなのために」 2)豊かに表現できる子（知育） 3)思いやりのある子（徳育） 4)元気で丈夫な子（体育）</p>
2	<p>期待する職員像（関連 カテゴリー5 職員と組織の能力向上）</p> <p>(1)職員に求めている人材像や役割</p> <p>「みんなのために」という法人理念に基づき、利用者のことを思い、利用者の家族のことを思い、職員の家族を思うことができ、そして地域に貢献するという意識の高い人材。</p> <p>(2)職員に期待すること(職員に持って欲しい使命感)</p> <p>専門職としての自覚を持ち、常に向上心を持って、自己努力をし続けること。</p>